

Requested Patent: JP8242906A
Title: BOOT ;
Abstracted Patent: JP8242906 ;
Publication Date: 1996-09-24 ;
Inventor(s): OKANO FUKAMIZU ;
Applicant(s): SEIBU FASTENER KK ;
Application Number: JP19950054547 19950314 ;
Priority Number(s): ;
IPC Classification: A43B23/07 ;
Equivalents: ;

ABSTRACT:

PURPOSE: To enhance the strength, durability, and the sustaining power against cuts by forming the inner lining of a boot body from a knit of polyamide fibers finished in a sock shape.

CONSTITUTION: A boot body is composed of two layers, the outer layer 1a and the inner lining 1b, wherein the outer layer 1a is made of a thermoplastic synthetic resin while the inner lining 1b consists of a knit of polyamide fibers finished in a sock shape. The surface of a last mold 2 is covered with a knit of polyamide fibers finished in a sock shape which becomes inner lining 1b. With this last mold 2, a side mold 3 and bottom mold 4 are combined to form a cavity, and the thermoplastic synthetic resin to become the outer layer 1a is injected into this cavity so that the outer layer 1a and inner lining 1b are consolidated. Polyamide fibers are hard to cut when they are turned in a cloth, textile, etc., but easy to be knit in sock shape, so that there is no risk that manufacture of the shoe body requires much labor. It has also a low moisture absorption, anti-abrasiveness, and sustaining power against cuts, so that excellent strength, durability, and sustaining power against cuts are provided without impairing the comfort for the person to put it on.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-242906

(43) 公開日 平成8年(1996)9月24日

(51) Int.Cl.⁶
A 4 3 B 23/07

識別記号 庁内整理番号

F I
A 4 3 B 23/07

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平7-54547

(71) 出願人 392023898

西部ファスナー株式会社

(22) 出願日 平成7年(1995)3月14日

大阪府大阪市東成区大今里西2丁目7番3号

(72) 発明者 岡野 深水

岡山県倉敷市児島下の町5-3-19 西部
ファスナー株式会社岡山支店内

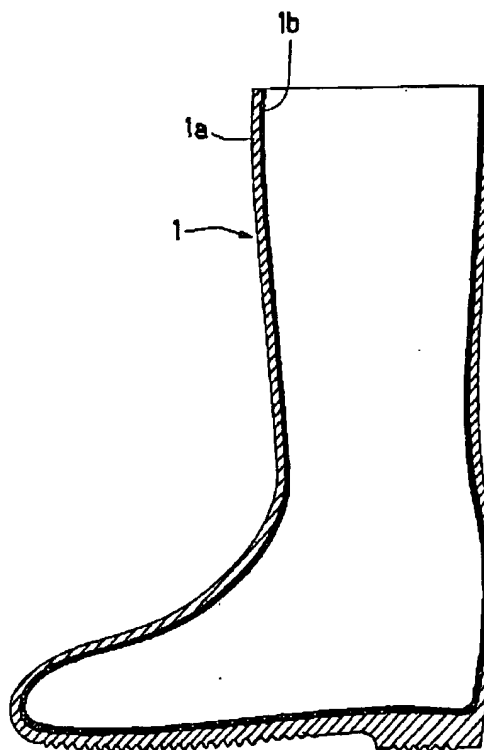
(74) 代理人 弁理士 辻本 一義

(54) 【発明の名称】 靴

(57) 【要約】

【構成】 ポリアミド繊維でソックス仕立てに編んだ編み物を、靴本体1の内地1bとしたものとしている。さらに、ポリアミド繊維でソックス仕立てに編んだ編み物を、靴本体1の外地1aと内地1bの間に挟み込まれる中地1cとしたものとすることもできる。

【効果】 ポリアミド繊維を靴本体1の内地1bや中地1cとしても、製造に手間がかかることのないものとなり、しかも靴の履き心地を損なうことなく、強度性や耐久性、耐切削性に優れたものとなり、切り傷や差し傷等の危険な面から解放され、しかも丈夫で長持ちするものとなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ポリアミド繊維でソックス仕立てに編んだ編み物を、靴本体(1)の内地(1b)としたことを特徴とする靴。

【請求項2】 ポリアミド繊維でソックス仕立てに編んだ編み物を、靴本体(1)の外地(1a)と内地(1b)の間に挟み込まれる中地(1c)としたことを特徴とする靴。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、強度性や耐久性、耐切創性に優れた繊維を用いた靴に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来の靴には、本革製のもの、合成皮革やゴム製のもの等が存在する。そして、何れの靴においても、履き心地の良さや、強度性、耐久性等が要求されるため、靴本体に内地が一般的に装着されている。

【0003】 特に、レジャー用やスポーツ用に使用される靴では、強度性や耐久性、耐切創性が要求される。例えば、魚釣りに使用されるゴム長靴では、磯釣り等の時には岩場に擦れて破れたりすることがあるので、強度性や耐久性、耐切創性に非常に優れたものが要求される。

【0004】 ところで、上記従来の靴には、ナイロン生地を靴本体の内地に使用したものが存在する。そして、前記靴に使用されるナイロン生地は、強度性や耐久性、耐切創性というよりも、履き心地を良くするために使用されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 したがって、上記従来の靴において、ナイロン生地を靴本体の内地に使用したものは、履き心地が良くなっても、靴の強度性や耐久性、耐切創性は余り向上しないという課題を有していた。

【0006】 そこで、この発明は、上記従来の靴が有する課題を解決するものであり、履き心地を損なうことなく、強度性や耐久性、耐切創性に優れ、切り傷や差し傷等の危険な面から解放され、しかも丈夫で長持ちする靴を提供するためになされたものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】 そのため、この発明の靴は、ポリアミド繊維でソックス仕立てに編んだ編み物を、靴本体1の内地1bとしたものとしている。

【0008】 さらに、この発明の靴は、ポリアミド繊維でソックス仕立てに編んだ編み物を、靴本体1の外地1aと内地1bの間に挟み込まれる中地1cとしたものとしている。

【0009】

【作用】 この発明の靴は、ポリアミド繊維でソックス仕立てに編んだ編み物を靴本体1の内地1bまたは中地1cとしたので、ポリアミド繊維を裁断することなく靴本

体1の内地1bまたは中地1cとすることができる。

【0010】 さらに、この発明の靴は、ポリアミド繊維が有する低吸湿性、耐摩耗性、耐切創性により、靴の履き心地を損なうことなく、強度性や耐久性、耐切創性に優れたものとなる。

【0011】

【実施例】 以下、この発明の靴を、実施例として示した図面に基づいて説明する。

【0012】 図1、2に示す実施例は、この発明の靴をゴム長靴としたものであり、図1では、靴本体1を外地1aおよび内地1bの二層よりなるものとしており、図2では、靴本体1を外地1aと内地1bの間に中地1cを挟んだ、三層よりなるものとしている。

【0013】 前記外地1aおよび内地1bの二層よりなる靴本体1は、外地1aを熱可塑性合成樹脂とし、内地1bをポリアミド繊維でソックス仕立てに編んだ編み物としている。このように構成されるこの発明の靴は、図3に示すように、ラストモールド2の表面に内地1bとなるポリアミド繊維でソックス仕立てに編んだ編み物を被せ、このラストモールド2にサイドモールド3およびボトムモールド4を組合せて形成した空隙に、外地1aとなる熱可塑性合成樹脂を射出成形して、外地1aと内地1bを一体としている。

【0014】 前記外地1aと内地1bの間に中地1cを挟んだ、三層よりなる靴本体1は、外地1aおよび内地1bを熱可塑性合成樹脂とし、中地1cをポリアミド繊維でソックス仕立てに編んだ編み物としている。このように構成されるこの発明の靴は、図4に示すように、ラストモールド2の表面に予備成形した内地1bとなる熱可塑性合成樹脂に中地1cとなるポリアミド繊維でソックス仕立てに編んだ編み物を被せ、このラストモールド2にサイドモールド3およびボトムモールド4を組合せて形成した空隙に、外地1aとなる熱可塑性合成樹脂を射出成形して、外地1a、内地1bおよび中地1cを一体としている。

【0015】 また、前記靴本体1は、図5に示すように、ポリアミド繊維でソックス仕立てに編んだ編み物の一部分を足首部分より上方に延長し、この部分に外側および内側からナイロンコーティング5を施し、さらに上端部に紐6を通して足に締め付けることができるようにし、足からずり落ちないようにした長靴とすることもできる。この場合、前記足首部分より上方に延長した部分は、不要時や運搬時には、図5に仮想線で示したように足首部分まで、ロールダウンしておけば、不要時に邪魔になったり、運搬時に嵩になるようなことはない。

【0016】 前記内地1bや中地1cとなるポリアミド繊維は、他の繊維が混合されていない純粋のポリアミド繊維を使用するのが好ましい。なお、このポリアミド繊維は、耐切創性を有しているので、布・織物等にした場合には裁断しにくい、ソックス仕立てに編むのは容易

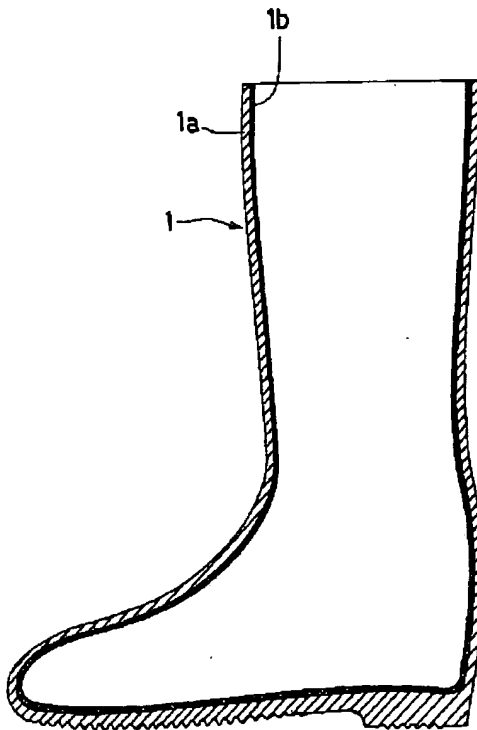
3

であるので、靴本体1の製造に手間がかかることはない。また、このポリアミド繊維は、低吸湿性、耐摩耗性、耐切創性を有しているので、これを靴の内地1bを使用することにより、靴そのものの履き心地を損なうことなく、強度性或耐久性、耐切創性に優れたものとなり、また中地1cに使用することにより、靴が強度性或耐久性、耐切創性に優れたものとなる。

【0017】

【発明の効果】この発明の靴は、以上に述べたように構成されており、ポリアミド繊維を靴本体1の内地1bや中地1cとしても、製造に手間がかかることのないものとなり、しかも靴の履き心地を損なうことなく、強度性或耐久性、耐切創性に優れたものとなり、切り傷や差し傷等の危険な面から解放され、しかも丈夫で長持ちするものとなる。

【図1】



4

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の靴の一実施例を示す断面図である。

【図2】この発明の靴の他実施例を示す断面図である。

【図3】図1に示すこの発明の靴の製造状態を示す要部断面図である。

【図4】図2に示すこの発明の靴の製造状態を示す要部断面図である。

【図5】この発明の靴のさらに他の実施例を示す断面図である。

【符号の説明】

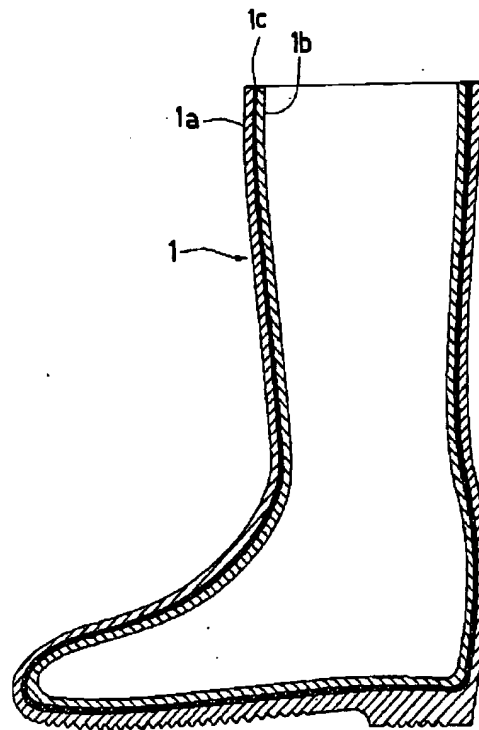
1 靴本体

1a 外地

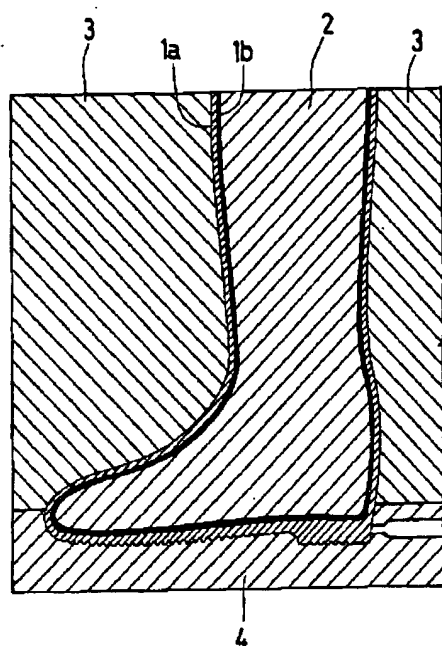
1b 内地

1c 中地

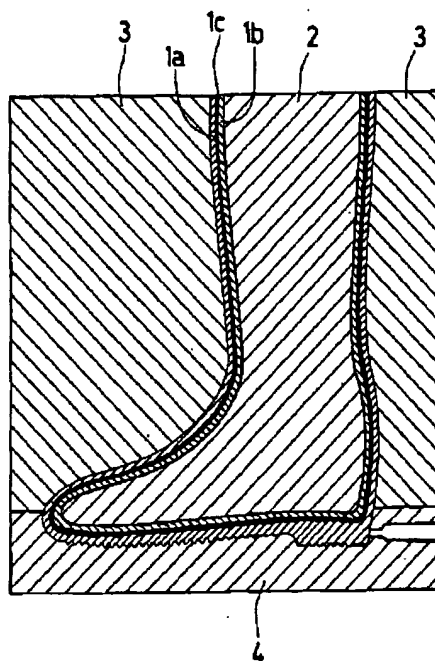
【図2】



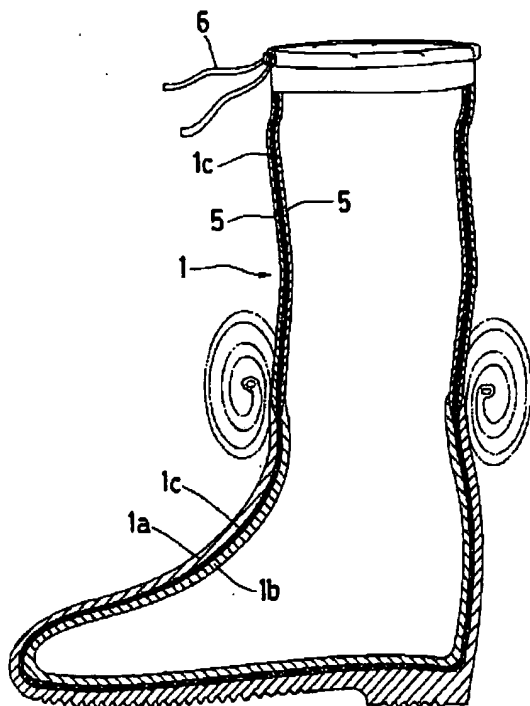
【図3】



【図4】



【図5】



BEST AVAILABLE COPY